

## 事業計画書

事業名	旧沼津城二重櫓(やぐら)の平面パネル展示での再現
実施場所	沼津市中央公園
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2022年4月1日～2022年9月30日

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

沼津史談会の史料への協力を得ながら、静岡県立沼津工業高校で培われた「アーチ」と呼ばれている同校体育大会各科応援用の平面パネル描画展示(付帯資料①)のノウハウを用い、同校同窓会の協力を得て、中央公園に作成展示する。

併せて、地域自治会、商店会、観光ボランティアの会などの協力を得て、広く市民に公開し、商業やまちおこしに資する。

具体的には3尺×6尺ベニヤ板2枚を1モジュールとし、3×3モジュールでの嘉永年間沼津城絵図(明治史料館蔵、作成は万延元年)に基づく現中央公園から旧東海道筋に面して外堀沿いに位置していた二重櫓を縮尺二分の一の約5メートルの高さで描画再現し、これを当該の大きさの建築用足場で組立て、各モジュールを番線締結で掲示する(付帯資料②)。市民や沼津を訪れた人々に見ていただき、目的に資する。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

これまで、沼津に城が存在したことは沼津史談会や各博物館展示などで広く知らされ、義務教育の一環としての郷土への関心を育む教育は行われてきた。

しかし、代表者らが、適宜行われている「沼津歴史ツアー」(例えば第五校区の「ノルディックウオーク」)などで感じたのは、「沼津は城下町だったのか」というような歴史認識も多いことであった。学校教育の郷土史学習だけでなく、大人に関心を抱いてもらうための、ある程度大がかりな展示によってその周知や一般化の所期効果が発揮できると考えた。

併せて、昨今のNHK「日本最強の城スペシャル」番組や同大河ドラマ「鎌倉殿の13人」などを奇貨として、地域自治会、商店会、観光ボランティアの会などの協力を得ながら、商業やまちおこしにも資するものとした。

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい</p> <p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県立沼津工業高校同窓会の協力を仰ぎ、同校で現在も体育大会で引き継がれている通称「アーチ」と呼ばれているパネル描画と足場によるデモンストレーションパネルを仮建設する。足場仮建設には法に基づいた建設強度と安全性を確保し、見学者の安全管理を目指すものとする。また、同窓会等の協力を得て、保安要員など管理官監者を置く。</li> <li>・描画については油性塗料により風雨による損傷を軽減させながら、同校同窓会の協力で行う。足場仮建設も同じ。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描画する「二重櫓」は沼津史談会の協力を得ながら、より実態に近いものの再現を目指し、併せて沼津の史跡なども紹介できればより好ましい。</li> <li>・商店会や観光協会などのイベント採用も目指し、単に歴史的展示にとどまらない、産業発展にも助力する。</li> <li>・会期は、当面 2-3 日を考慮し、中央公園イベントとの重複を避ける。</li> <li>・観覧者 2,000 人を当面のめどとする。</li> <li>・会場としてはもともと二重櫓があった中央公園内とし、実際の位置はやや異なるものの、地表が露出している南西隅で行いたい。 (これは足場仮建設に際して必要があれば木製杭打ちが必要なため)</li> <li>・適宜、関係者打ち合わせを実施するとともに会計責任者を選任して事業を推進する。</li> <li>・アンケート等により、効果を確認したうえで、次年度以降の開催など検討するための第一歩を今年実現したい。</li> <li>・詳細スケジュール・人員配置などは、沼津市役所関係各課との別途ご調整により決定する。</li> </ul>
4 月	○準備～実施スケジュール 描画案の決定と仮図の作成 建築用足場の構造計算再確認と問題点抽出とそれへの対応
5 月	各モジュールの資材調達と作成、原寸図の作成
7 月	安全等に関わる講習会、事業 PR
8 月	建築用足場の発注 建築用足場の組立て(中央公園への搬入を含む) 原図の搬入と掲示 保険の加入
掲示当日 8 月 26-29 日	公園内への搬入用自動車に関わる安全誘導 保安要員の配置と足場の安全確認チェックシートの掲示 夜間保安対応(コーンとコーンバー及び電飾) スマホ等による気象及び災害に関わる注意報発令等の把握 アンケートの実施
最終掲示日	撤収に関わる安全誘導及び安全作業確認の上での撤収 現場の開催前状態の保全
9 月	アンケート集計と反省会、次年度計画の検討 まちづくりファンドへの報告

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
<p>学校教育による「郷土への関心の育み」から遺漏していた大人の沼津転入者に対する沼津への関心を喚起するために、より具体的で、ある程度の大きさを伴いながら、昨今の城閣ブームにも沿った関心を引き出すような旧沼津城二重櫓(やぐら)の大型平面パネル展示による再現は、沼津への新たな認識や地域の歴史への誘いとなるとともに、地域商業・観光業に寄与するものとなると思料される。また、中央公園の再整備の助力となれば望外の喜びである。</p>			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 観覧者数 2000 人	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 観覧者数計測、アンケート

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 ・NHK「日本最強の城スペシャル」番組や同大河ドラマ「鎌倉殿の13人」など、各地の城や伊豆半島での歴史が注目される中で、沼津にかつて城のあった意義を回顧するとともにそれを沼津市としてアピールでき、沼津の利益につなげることができる。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 ・市民に対するパネル展示による再現で、沼津が城下町であったことを喚起し、地域の歴史への誘いととも、地域商業・観光業に寄与できると思料。 特に大人に関心を惹いてもらうためのある程度大がかりな展示によってその所期効果が発揮できると考える。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 ・すでに兵学校イベントや当時の再現地図作成などが行われ、一部にはジオラマ旧沼津城製作などもおこなわれているが周知という点からは限定的であった点は否めなかった。本事業では、当初は実物大での図再現(高さ約10メートル)を計画していたが、安全性や初年度事業ということから縮尺二分の一の高さ約5メートルに縮小した。しかし、初の試みである大型展示だけでも、より観覧者の耳目を集めることが可能と考える。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについて記載して下さい。 アンケートなどによる反響を見ながら、次年度計画に発展させるかどうか再検討する。(次年度案としては大手櫓門再現を、次々年度案としては天守閣に代わり建設されたとみられる三重櫓再現の案を保有)。 なお、中央公園の今後の施設検討に際して、二重櫓再現も考慮検討していただくべく、参考になるような今回のイベントとしたい。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 ・沼津史談会の協力を得て、具体的な歴史資料に基づく再現の確からしさを担保できる。 ・静岡県立沼津工業高等学校同窓会の協力を得て、同校で昭和20年代から作成されていた「アーチ」と呼ばれる平面パネルへの描画掲示のノウハウを利用させていただき、安全な内に効果的な大型再現図が作成できる。 ・沼津市役所緑地公園課に御指示をいただきながら、安全を最優先としながらの中央公園での掲示に向け、開催に向けて調整中。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 これまで代表者らは沼津史談会での活動も含め、団体概要説明書に掲げたような沼津の歴史周知の活動を行ってきた。だが、限定的であった点は否めない。本事業はなによりも市民に広く注目してもらえる中央公園で、更に人目を惹き付ける大きさを伴った掲示であることが目玉となる。なによりも、初の試みとしての大型掲示だけでも市民に注目されよう。 また、実際の大きさの二分の一の縮尺の平面パネル展示ではあるものの、実際に存在していた二重櫓をテーマとすることで、かつての沼津城の存在がより身近なものとなることは疑いない。 本事業は、市民への郷土史喚起にとどまらず、県内或いは日本国内での、沼津市を広く知らしめることも効果として期待できるであろう。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門(ステップアップ型)新規または2回目の応募で、助成の継続(最大3年まで)を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい(今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません)。 アンケートなどによる反響を見ながら、次年度計画に発展させるかどうか再検討する。(次年度案としては大手櫓門再現を、次々年度案としては天守閣に代わり建設されたとみられる三重櫓再現の案を保有)。</p>
---